

◆ 9月号の天気コラム

甲子園球場の土

連日、高校球児たちの熱戦が繰り広げられている甲子園球場。この甲子園球場の土は、黒土と砂を混ぜ「ふるい」にかけて粒子を均一化したものを使用しています。春の大会は黒土と砂を五・五対四・五の割合。春は雨が多いため水はけのよい砂が多く、つよい日差しが照りつける夏はボールを見やすくするために黒土が多くなっています。 * 『季節と暮らす 365 日 (日本気象協会編、アリス館)』より

◆ 会報閲覧室 (玉造連盟事務所)

『安治川山の会ニュース』2017年8月号・No.455 安治川山の会 / 20 頁

毎月、各会から会報や府県連盟ニュースが連盟事務所に届けられています。この会報・ニュースは、いつでも閲覧できるように連盟事務所 (玉造) の会報閲覧コーナーに置いています。いつでも是非ご覧ください。

今回は 1968 年労山加盟、伝統のある安治川山の会の機関誌を紹介しましょう。先日受け取った機関紙は「455 号」、コツコツ機関紙活動を続けて来られた歴史に重みを感じます。機関誌は毎号平均 20 頁、表紙は前月の会山行の集合写真が掲載されています。7月号は飯盛山 (クリーンハイク)、8月号は妙見山 (一般募集山行) とそれぞれ山行の参加者の表情が伝わってきます。ユニークなのが毎月実施されている「土曜会山行」で近郊の山々を電車、バスを利用して楽しい山歩きをされています。山行報告も雑感として B 5 に簡潔に収められ著者の感性がストレートに伝わってきます。今後の機関誌発行も、まだ少し先ですが「500 号の記念誌」を期待しています。

◆ 9月、この一冊を 『孤高の人』 (新田次郎、新潮社文庫上・下)

先日の連盟理事会で中川教育遭対部長が『孤高の人』で描かれている加藤文太郎の登山への姿勢を紹介しておられました。加藤の自分にあった登山の工夫で、冬山での低体温対策や行動食 (干し魚や甘納豆) は現代の登山にも十分に参考となるものです。青春をいくつかの冬の北アルプスなど単独行で通し、身近な六甲山にもハードなトレーニングを続けた加藤、1936 年冬の槍ヶ岳北鎌尾根の遭難までの輝かしい山歩きでした。今回の中川部長の加藤文太郎の紹介で、『孤高の人』をもう一度読み返してみたいと思ったのでした。『孤高の人』は三回目でしたが、今回は加藤の山への情熱と心が伝わり、また違った私の『孤高の人』の感想となりました。『孤高の人』を読み終え、もう一度加藤文太郎に触れてみたいくて、今年の 11 月に加藤が歩いた氷ノ山と兵庫県浜坂 (加藤の故郷) の加藤文太郎記念図書館を企画したのです。みなさんも是非もう一度浜坂を訪ねてみませんか。

◇編集後記◇

『大阪労山ニュース』は毎号、大阪労山と交流のある他府県連や以前に機関紙等でお世話になった方に郵送しています。先月号の編集後記で紹介しました、故星野安明氏もその一人でした。『大阪労山ニュース 8月号』をお送りしましたところ、星野氏の奥様から下記のようなハガキをいただきました。星野氏と喜多氏は同じ会（大阪ファミリー山岳会）に所属し、それぞれ励まし合いながら得意とする分野で連盟機関誌に貢献されていたことが伺えました。

「暑中お見舞い申し上げます。先日の8月号の編集後記のところでは喜多亨さんと一緒に取り上げていただき、お二人ともどこかで喜んでいると思います。主人は喜多さんのおすすめで表紙の写真とその解説文を、喜多さんは気象の分野と一緒に掲載させていただきました。夫は毎日曜日に花とその情報を探しに山に出かけていました。主人は連盟機関誌で良い時を過ごさせていただき、さぞ満足だったと思います」

かつて連盟機関誌を支えて下さった星野氏と喜多氏、お互いに切磋琢磨しながら登山や情報活動をされてこられた二人の心を大切に、これからの大阪労山機関誌を前進させていきたいと考えたのでした。

今年の私の夏山は白神山地でした。ところが8月3日、考えてもいなかったマダニの被害に。白神岳を下山し中間点の尾根で休憩をしていました。なんとなく痒い右足を見ると約1cmのマダニが食いついているのです。即マダニを取り払おうとしても食いついてはがれません。その瞬間、マダニから感染する死亡率の高い重症熱性血小板減少症候群（SFTS）が浮かんできましたが、その後が意外と冷静でした。軟膏をたっぷりマダニかぶせ、バンドエイドを貼って窒息死の処置、下山後に能代厚生医療センターに行って除去手術をしました。その後、発熱や下痢がないのでSFTSに感染していないようなので一安心でした。やはり夏でも草むらややぶに入る際は長袖、長ズボンの着用がマダニ対策に重要なようです。（大西）



吸いついたマダニ



秋田県側もブナ林の宝庫、400年ブナもありました

今月も各会より会報を送っていただきました。安治川山の会ニュース（安治川山の会）、やまなかま（泉州労山）、きたろうニュース（きたろうHC）、にしよど（西淀労山）、ぼんぽん山（高槻）、奈良県連ニュース滋賀県連ニュース、福岡県連通信、労山おかやま、やまと友の会、HCかざぐるま、京都労山、噴煙（鹿兒島労山）、兵庫労山会報、県連ニュース（和歌山労山）、明昭（西宮明昭山の会）

編集・発行 入澤、大西秀、笠井、園、高橋、中井、中尾、服部、大西清
